

大日本塗料株式会社 会社説明資料



2024年3月22日



大日本塗料株式会社

証券コード 4611 東証プライム

- | | |
|---------|------|
| 1. 会社概要 | p.02 |
| 2. 成長戦略 | p.12 |
| 3. 決算概要 | p.26 |

1. 会社概要

大日本塗料とは？

国内塗料売上
4位

業歴95年
(1929年創立)

大阪本社の
在阪企業

グループでは
LED照明機器も



源流は
島津製作所

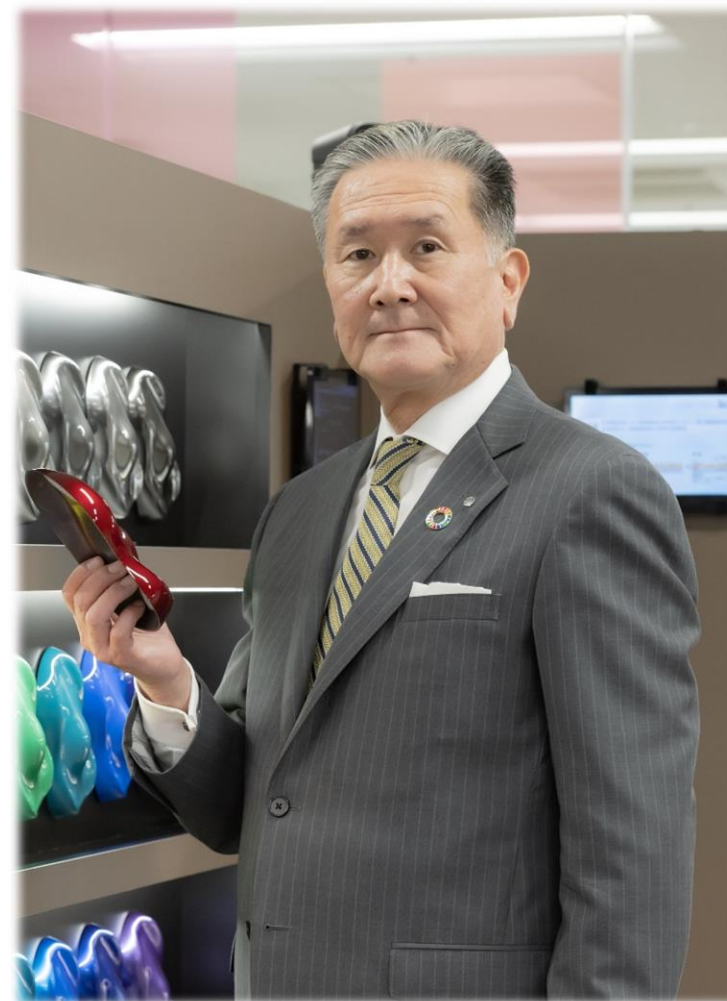
インクジェット用
インクも手掛ける

構造物塗料分野
国内トップシェア

三菱広報委員会
所属

大日本塗料の概要

社名 大日本塗料株式会社 (略称：DNT)	創立 1929年7月
本社所在地 大阪市中央区	上場市場 東証プライム
決算期 3月31日	単元株数 100株
連結従業員数 2,193名 (2023年3月31日現在)	連結子会社 23社 (2023年3月31日現在)



代表取締役社長
里 隆幸

グループ構成（2023年3月期）

- ✓ 主力の塗料事業で国内外合わせて連結売上高の84%を占める。
- ✓ そのほか業務用LED照明を手掛ける**照明機器**や主に蛍光顔料を扱う**蛍光色材**などをグループにもつ。

国内塗料

- ・大日本塗料、日塗化学（製造・販売）
- ・サンデーペイント ほかに3社（販売系）
- ・千葉化工 ほかに4社（製造系）

海外塗料

- ・東南アジア（タイ、シンガポール、マレーシア、インドネシア）
- ・中国 ・メキシコ

照明機器

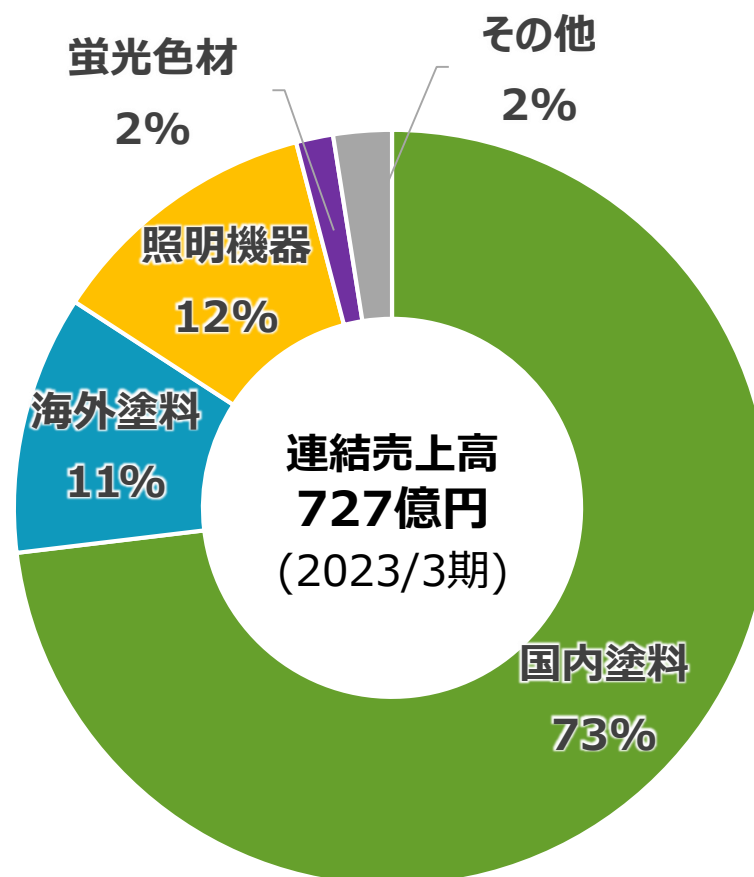
- ・DNライティング（製造販売）
- ・秋田DNライティング（製造）

蛍光色材

- ・シンロイヒ（製造販売）

その他

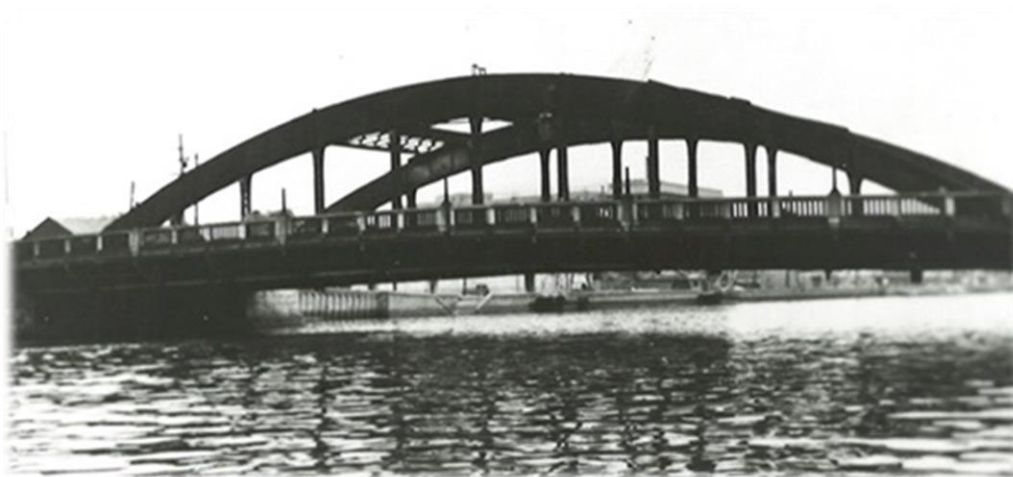
- ・ニットサービス（物流）
- ・日塗エンジニアリング（塗装工事）



DNTグループの原点①（塗料事業）

1920年
(大正9年)

二代目島津源蔵が鉛蓄電池に用いる鉛粉の製造技術「**易反応性鉛粉製造法**」を開発。



大阪・堂島大橋



二代目 島津源蔵 氏

1923年
(大正12年)

亜酸化鉛粉錆止塗料「ズボイド」を発明、世界8か国で特許を取得。大阪・堂島大橋の改築に採用。

1929年
(昭和4年)

日本電池(現：ジーエス・ユアサコーポレーション)の塗料部門を分離し、**創業**。大阪市此花区の塗料会社を買収し、塗料製造事業を開始。

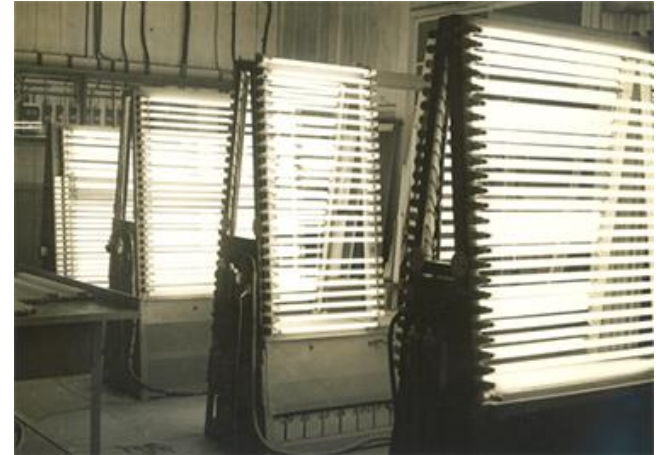
⇒ その後、海軍指定工場になるなど軍需産業とともに成長。

DNTグループの原点②（照明機器、蛍光色材）

1946年
(昭和41年)

蛍光塗料の技術を応用した**放電灯**の
生産拠点として、平塚に工場建設。

⇒ 1977年に分離、現 DNライティング
(照明機器)



1958年
(昭和33年)

街頭ディスプレイ等、鮮明な色調の需要
が高まり、鎌倉市大船に**蛍光顔料・蛍光
塗料**の工場建設。

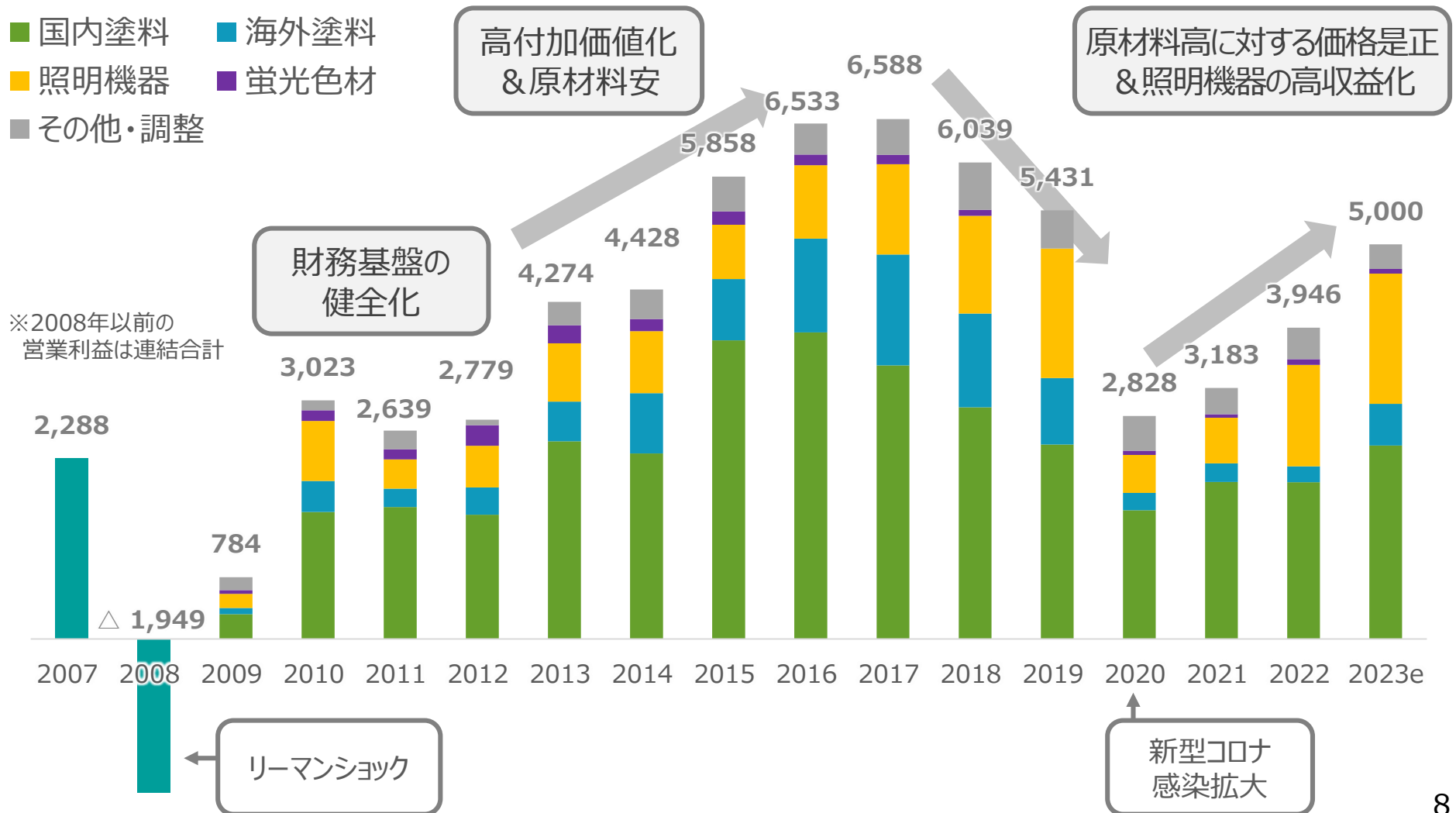
⇒現 シンロイヒ（蛍光色材）



照明機器、蛍光色材ともに
塗料技術から派生して形成

業績推移（セグメント別営業利益推移）

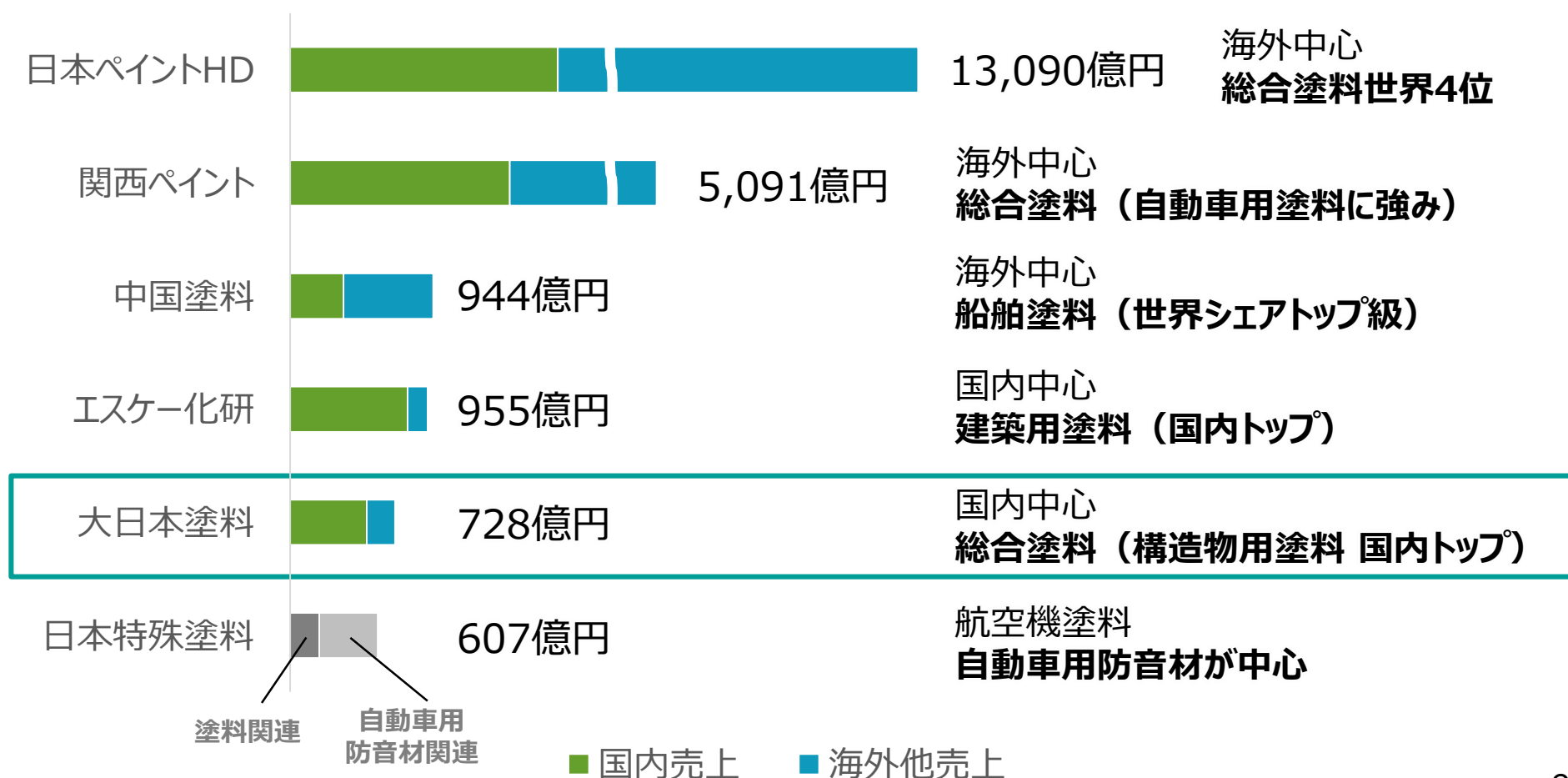
- ✓ リーマンショック後の収益体質改善により、国内塗料はコロナ禍においても一定の利益水準を確保。
- ✓ 近年は収益力強化策が実る照明機器が増益をけん引。



大日本塗料のポジショニング

- ✓ 国内は大手総合メーカー 2 社 と 各領域のニッチトップ に 二極化。
- ✓ 大日本塗料は売上規模は 5 位（国内塗料売上は 4 位）のなか、構造物塗料に強みを持つ。

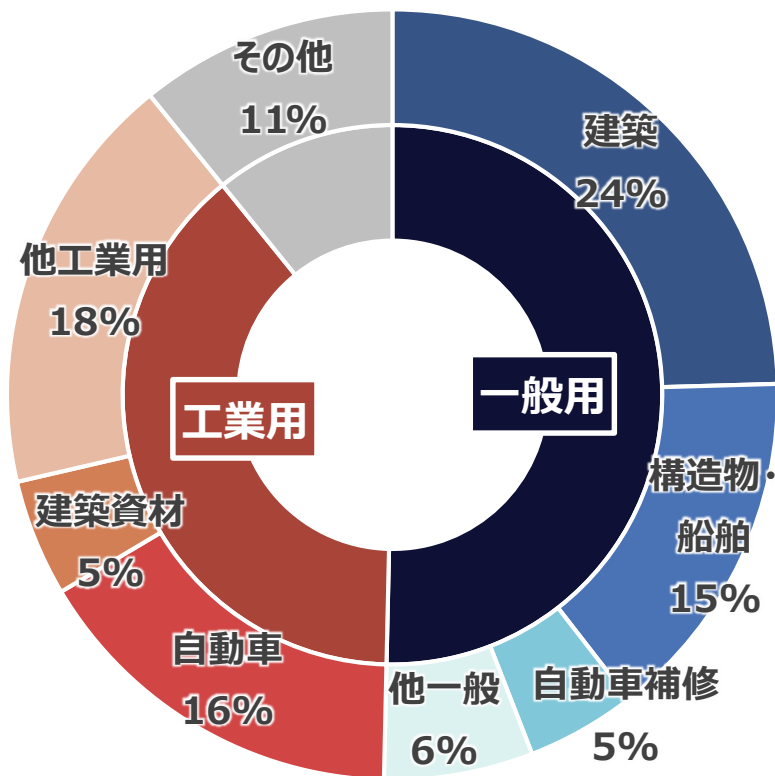
○2022年度 国内塗料メーカー売上高



国内塗料業界の動向（1）

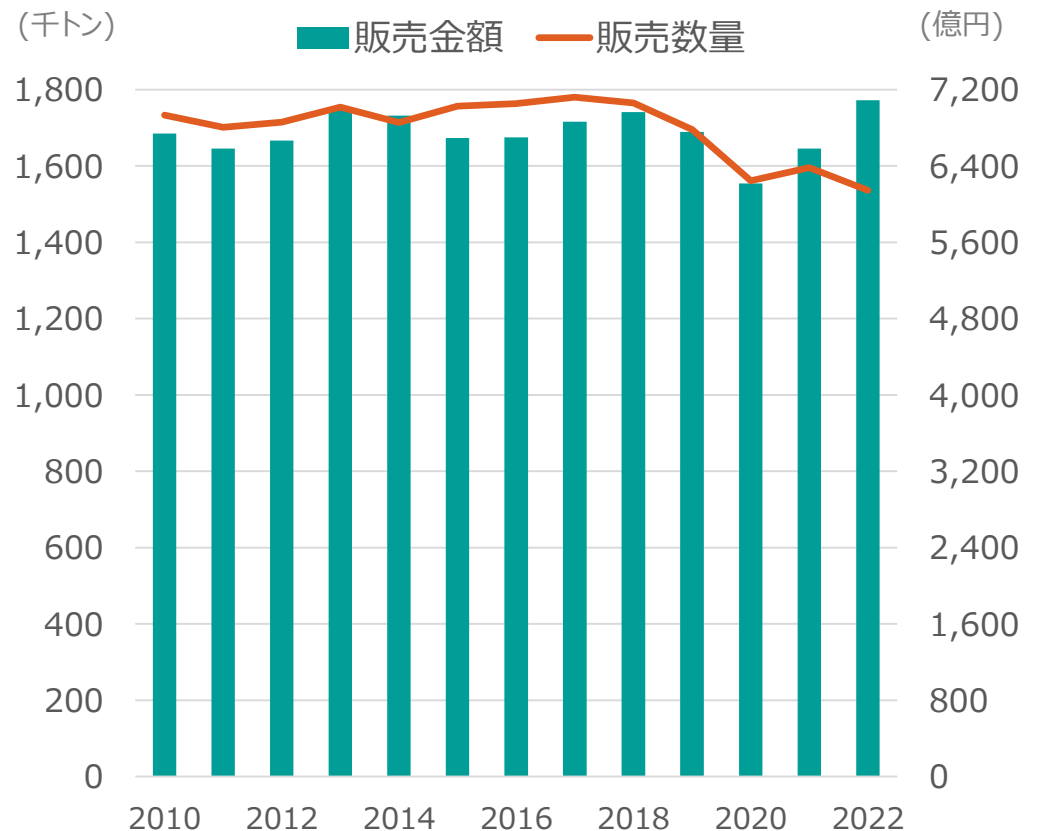
- ✓ 一般用分野は建築用途、工業用分野は自動車用途が主要マーケット。
- ✓ 国内市場はコロナ禍において需要が減少したが、2022年度にはコロナ前の販売金額にまで回復。

用途別塗料市場（国内 2022年度）



[出展] 日本塗料工業会 統計より当社作成

国内塗料市場の販売金額・販売数量の推移



[出展] 経済産業省 生産動態統計より当社作成

国内塗料業界の動向（2）

- ✓ 現場塗装を行う一般用分野では、職人不足が深刻化。次世代への技術伝承にも懸念。
⇒ 塗装工程の**省人化**や**省工程化**、**簡易化**が課題

○建設業就業者の減少

	1997年	2020年
建設業就業者	685万人	492万人（△ 28% ）
うち技能者	455万人	318万人（△ 30% ）

○建設業就業者の高齢化

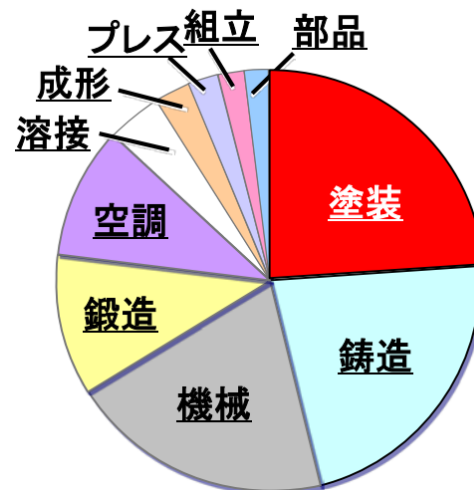
2020年	29歳以下	55歳以上
建設業	12%	36%
全産業	17%	31%

【出展】最近の建設業を巡る状況について【報告】（国土交通省）

- ✓ 工場ラインで塗装される工業用分野においては、製造工程の中でも塗装工程はCO₂排出比率が高く、塗料の水性化・粉体化や、塗装工程の短縮による**CO₂排出量の削減**が求められている。

○自動車業界 工程別CO₂排出量割合 約**25%**が**塗装工程**

【出展】自動車製造業における地球温暖化対策の取り組み（一般社団法人日本自動車工業会、一般社団法人日本自動車車体工業会）



自動車業界における環境への
取り組みが他産業へ波及

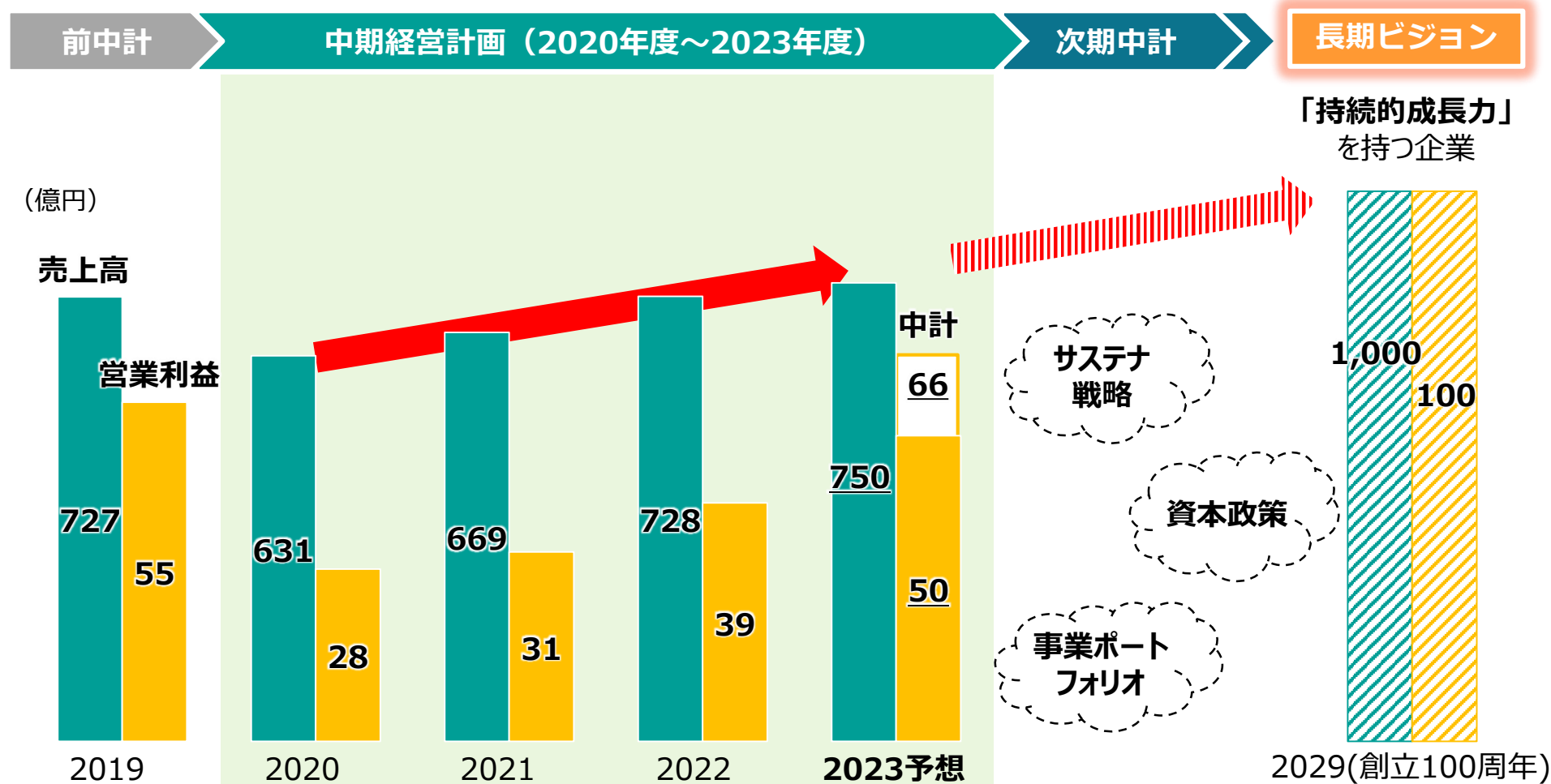


2. 成長戦略



中期経営計画

- ✓ 長期ビジョンとして「持続的成長力を持つ企業」をあるべき姿として掲げ、その具現化したかたちとして創立100周年を迎える2029年度に**売上高1,000億円、営業利益100億円**を目指す。
- ✓ 次期中計では資本戦略やサステナビリティ戦略を踏まえたトータルな事業戦略を実行していく。



事業戦略：国内塗料事業（1）一般用分野

強み 特徴

- ✓ 被塗物を長期的に保護する重防食技術に強み。→ **構造物用塗料は国内トップシェア**
- ✓ 塗装現場のニーズに沿った製品開発や市場開発により、常に業界をリード。

暮らしを支える鋼構造物の“超”寿命化



厚膜型重防食塗装により、数十年間にわたり
鋼構造物を保護。

VOC排出量を最大約31%削減、環境対応も抜群。

土木建設業の課題に応える製品開発



省工程防食シート工法「メタモルシート#1」

- ✓ 担い手不足
- ✓ 労働時間規制
- ✓ 技術伝承

「塗る」から「貼る」で
工程の短縮&簡易化

事業戦略：国内塗料事業（2）工業用分野

強み 特徴

- ✓ 様々な塗装環境を備えるコーティング技術センターにおいて、工場ラインを模したテスト塗装やデザイン性の改善提案など、ユーザーへの価値提供力を強化。

ニーズに沿った塗装システムの提供

複合的な塗装システムをユーザーカスタマイズ



スプレー塗装



インクジェットプリント



粉体塗装（焼付塗装）



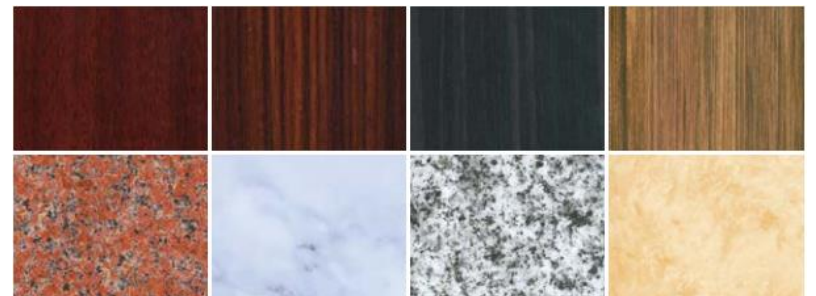
インモールドコーティング

耐久性を備えたカラーテクノロジー

多様なデザインをあらゆる産業用途へ展開



西武鉄道 特急「Laview」 高輝度金属調塗料



塗料とインクを組み合わせたデジタルコーティング

事業戦略：国内塗料事業（3）新規分野

強み 特徴

- ✓ 塗料分散技術の応用から、20年以上にわたり異方性貴金属ナノ粒子の研究を行っており、銀ナノプレートや金ナノロッドの安定的な合成技術を有する。
- ✓ 貴金属ナノ粒子のライフサイエンス分野への展開に向け、島津製作所と共同研究。



大日本塗料株式会社

「異方性貴金属ナノ粒子」



SHIMADZU

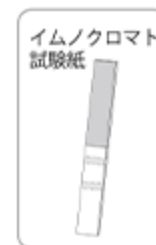
「ライフサイエンス」



Exorapid-qIC 細胞外小胞用免疫クロマトキット（CD9）



細胞から分泌され、細胞由来の様々な情報を含む粒子
「細胞外小胞」



インフルエンザウイルスなどの診断キットでよく用いられる
免疫クロマト方式
で検出可能に！（簡易化）

世界初

医療・医薬分野における
研究を後押し

事業戦略：海外塗料事業

強み 特徴

- ✓ 当社グループの海外セグメントは自動車部品用塗料が販売の過半を占める。
- ✓ 製造～開発～営業戦略と国内と連携し、成長市場と位置付け事業拡大を図る。

タイにおけるユーザー向け技術対応強化



東南アジアにおける開発拠点化

技術部の組織再編、分析機器・試作設備の導入による機能強化



○東南アジア・中国エリア

- ✓ 自動車部品用塗料はタイを中心に顧客フォローの強化を推進
- ✓ 金属建材向けなど粉体塗料の販売を強化

○北中米エリア

- ✓ 自動車部品用塗料を展開
- ⇒非日系メーカーとの取引拡大に注力



事業戦略：照明機器事業（1）

強み 特徴

- ✓ 豊富な製品ラインナップやニーズに沿ったカスタマイズ対応、施工までの一貫提供が高く評価。
- ✓ 汎用品ではなく、百貨店の店舗照明などの**高級志向の照明機器**において高シェアを有する。

優れたデザイン表現力



ジェイアール東海高島屋

意匠照明・天井間接照明

円と曲線で表現された間接照明とライン照明によりユーザーニーズである先進的なイメージを演出

デザイナーからの高い評価

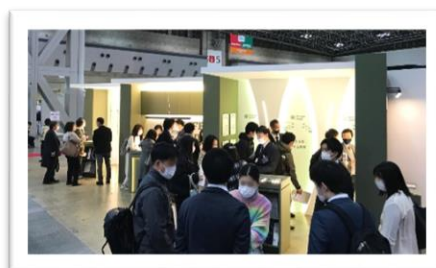


日本商環境デザイン協会（JCD）

プロダクトオブザイヤー2023・準グランプリ受賞

デザイナー約450名による審査により、幅5mmの極細LEDモジュール「MU-LED」が準グランプリ受賞

優れた製品を生かすマーケティング



マーケティングを通じたファンの獲得

セミナーや製品説明会の開催、展示会出展、
デジタルマーケティングを通じて、
ブランド力の向上を推進

更なる成長力強化に向けた投資



技術センターや物流センターを内包した新本社

現在建設中の新本社では、更なる成長力の
獲得に向け、生産工場、研究開発拠点、
物流倉庫を配置予定

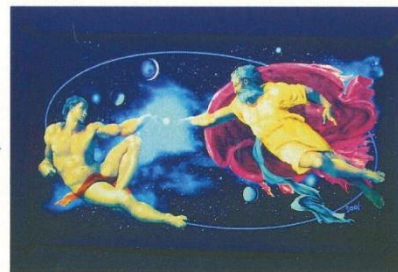
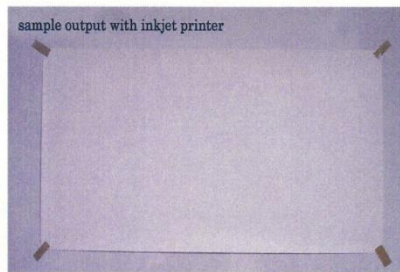
事業戦略：蛍光色材事業 / その他事業

強み 特徴

- ✓ 蛍光顔料は国内寡占状態。



視認性の高い蛍光色の特徴を生かし、
ファッション業界から**安全対策用途**まで
幅広く活用



ブラックライトを当てると浮かび上がる
インビジブル顔料は大型イベントへの採用も！

強み 特徴

- ✓ 【物流】塗料物流で培った危険物
輸送・保管ノウハウ。



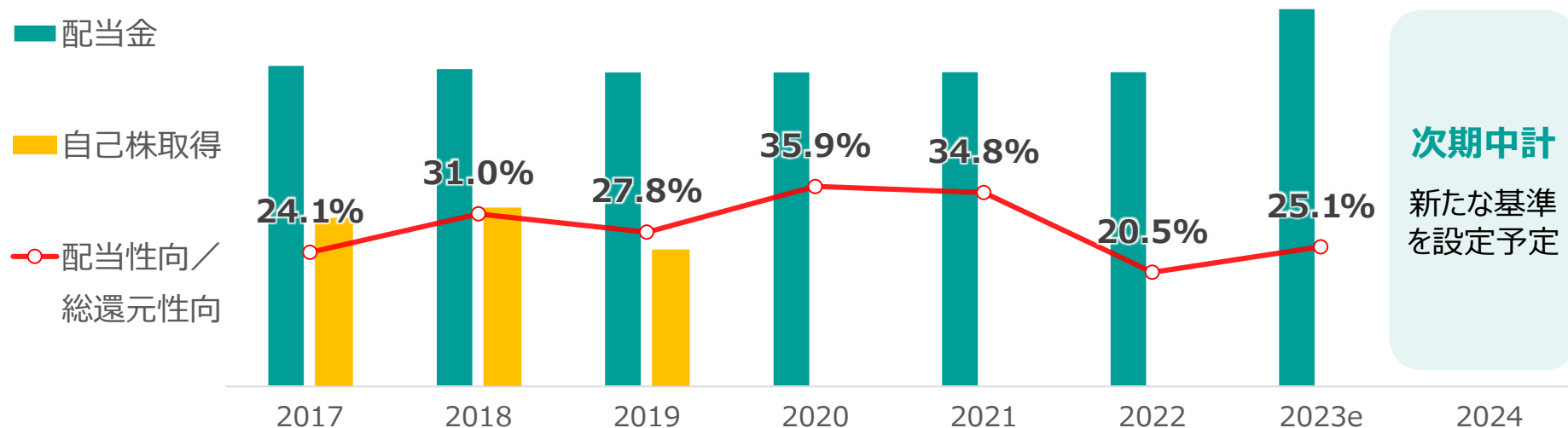
強み 特徴

- ✓ 【塗装工事】施工、管理、塗膜
保障、責任施工体制を確立。



株主還元 ① 配当

- ✓ 2023年度決算における配当は、5円増配の1株当たり30円の予定。
- ✓ 2024年度以降については、次期中期経営計画のなかで**資本コストや株価を意識した経営**を踏まえて、方針や基準とする指標について検討中。



一株あたり配当	25円	25円	25円	25円	25円	25円	30円
自己株式取得額	379百万円	402百万円	308百万円	-	-	-	-

株主還元 ②株主優待

- ✓ 2022年度決算より、中長期保有の株主拡大を目的として、継続保有年数と保有株式数を組み合わせた株主優待制度に変更。

		継続保有	
		1年以上3年未満	3年以上
保有株式数	100株以上 1,000株未満	 <p>QUOカード 1,000円分</p>	 <p>QUOカード 2,000円分</p>
	1,000株以上	 <p>QUOカード 3,000円分</p>	 <p>QUOカード 5,000円分</p>

- ※ 1 対象株主は、毎年3/31現在の株主名簿に記載または記録された当社株式100株以上を1年以上継続保有する株主
- ※ 2 上記のQUOカードのデザインは昨年のもので、デザインには、当社が障がい者の自立支援として協賛している「パラリンアート」より、【工房はんど yu-ma】様の作品を使用させていただきました。

ESGに関する取り組み（E：環境①製品開発）

- ✓ 塗料配合や塗装工程などを考慮した環境対応製品を当社独自に定義。
- ✓ 塗料を用いる作業者の皆さまや塗料ユーザーに対して配慮した製品開発に注力。

素地調整軽減剤

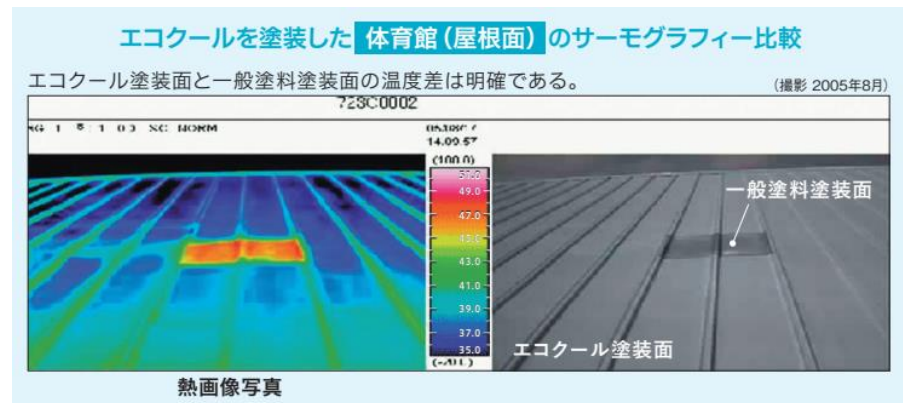
防食塗装を施す際に重要な“素地調整”
「削る」→「塗る」に！
『サビシャット・サビシャットスプレー』



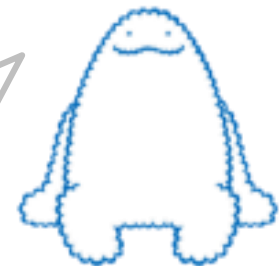
- 動力工具で削る作業を軽減でき、粉塵や騒音の発生を抑制
周辺環境や作業者への配慮
- スプレー化により、作業性が劇的に改善
作業の簡易化&時短に貢献

遮熱塗料

屋根や外壁に塗装することで、光の高反射、熱の高放射作用を付加し、遮熱効果をもたらす塗料
『エコクールシリーズ』



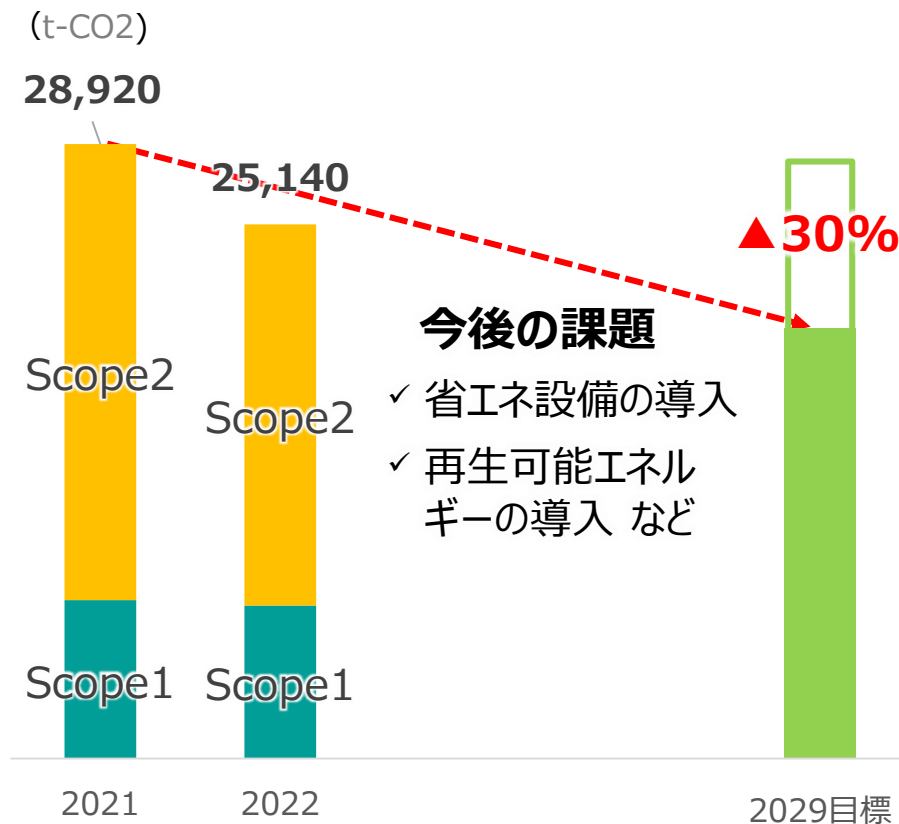
建物の温度上昇
を抑制 = 省エネ効果



ESGに関する取り組み（E：環境②排出量削減）

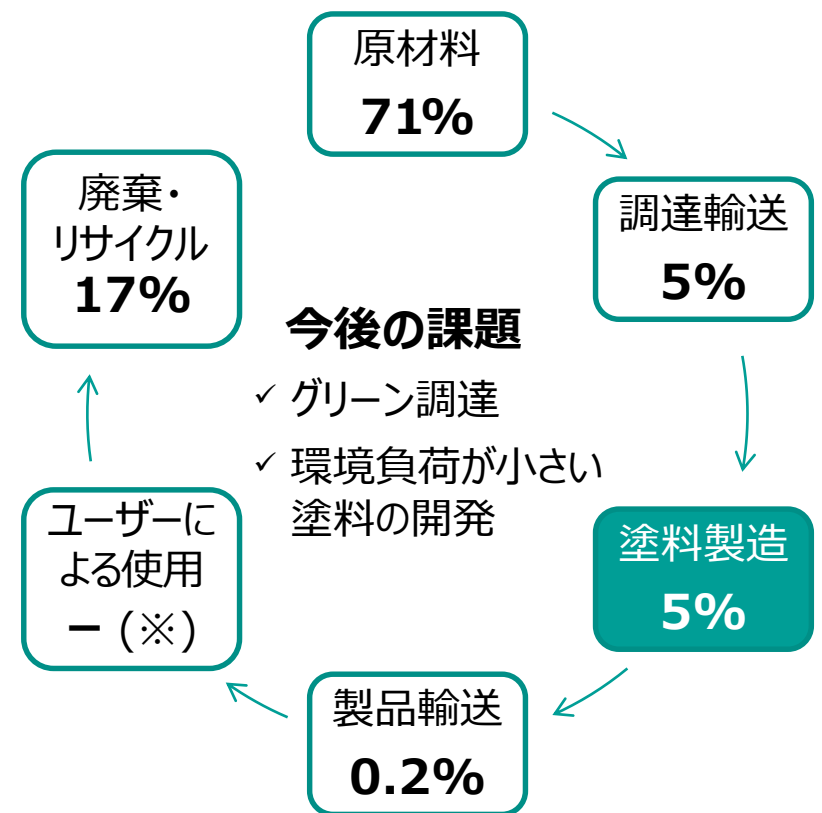
- ✓ 2029年度までに2021年度基準でScope1,2のCO₂排出量を30%削減するグループ目標を設定

Scope1,2におけるCO₂排出量推移



集計対象範囲：DNTグループ全社

塗料の製品ライフサイクルCO₂排出量



※ユーザーによる使用時におけるCO₂排出量は算定困難なため算出せず

ESGに関する取り組み（S：社会／G：ガバナンス）

- ✓ 地域社会との共生や従業員との関わりの実質化、ガバナンスの強化によりESG経営を全面的に推進。

地域社会との共生



此花区のSDGsイベントへの塗料提供

長年本社をおいた此花区が実施した郵便ポストを17色のSDGsカラーに塗装するイベントに塗料提供

従業員との関わり

人的資本経営に向けた社内環境整備

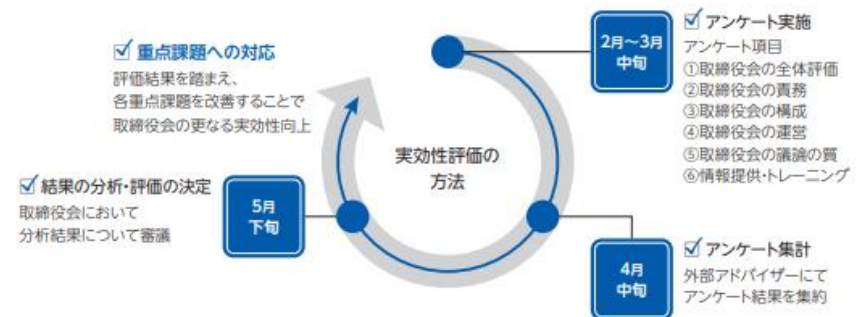
- ・女性従業員の積極採用
- ・男性の育休取得率64%（2022年度）

政策保有株式の縮減

- ✓ 2025年3月末までに政策保有株の純資産比率10%未満を目指す。

取締役会の実効性強化

- ✓ 独立社外取締役3名（うち女性1名）
- ✓ 取締役会の実効性評価の実施および概要の公表（統合報告書）



3. 決算概要

業績ハイライト

売上高は、国内塗料における不適切事案もあり、やや弱含みの推移

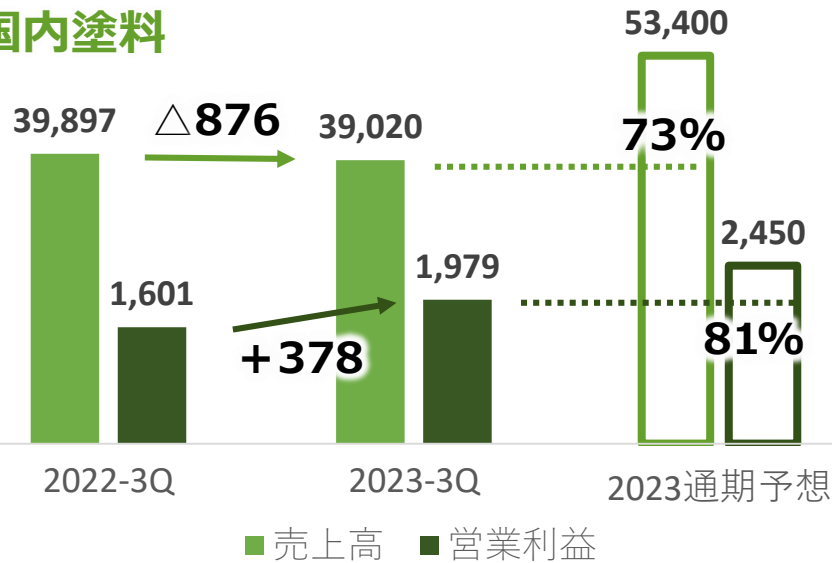
営業利益は、収益性の高い照明機器事業の好調な推移により、現時点では通期予想を達成する見通し

(単位：百万円)

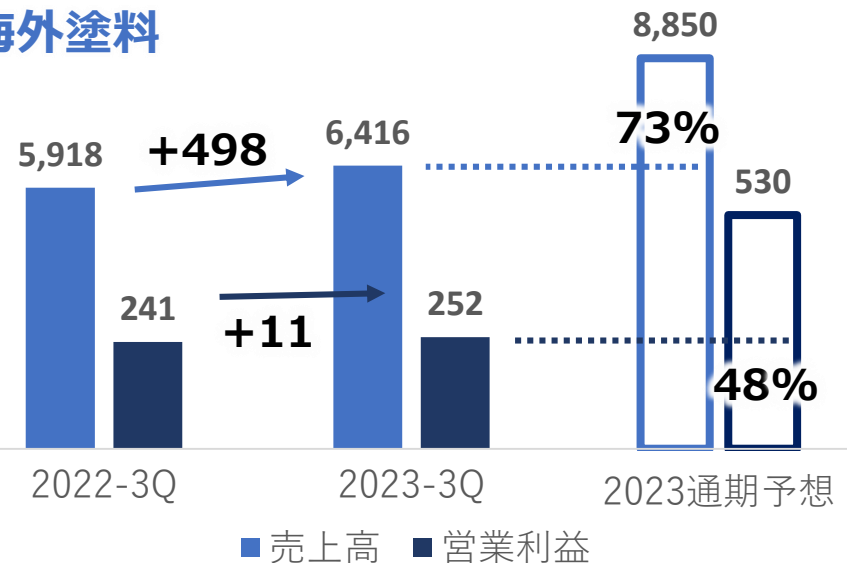
	2022年度	2023年度	前年同期比		2023年度	
	3Q累計実績	3Q累計実績	増減額	増減率	通期予想	進捗率
売上高	54,122	54,782	+ 660	+ 1.2%	75,000	73.0%
営業利益	3,035	3,931	+ 895	+ 29.5%	5,000	78.6%
(営業利益率)	(5.6%)	(7.2%)	(+ 1.6%)	-	(6.7%)	-
経常利益	3,283	4,271	+ 988	+ 30.1%	5,200	82.1%
親会社株主に帰属 する四半期純利益	2,185	2,728	+ 543	+ 24.9%	3,400	80.3%

主要なセグメントの状況

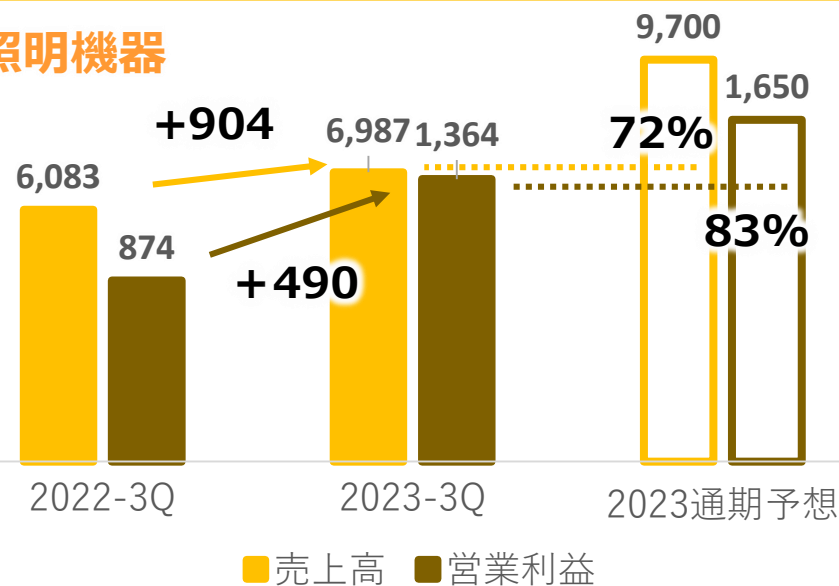
国内塗料



海外塗料

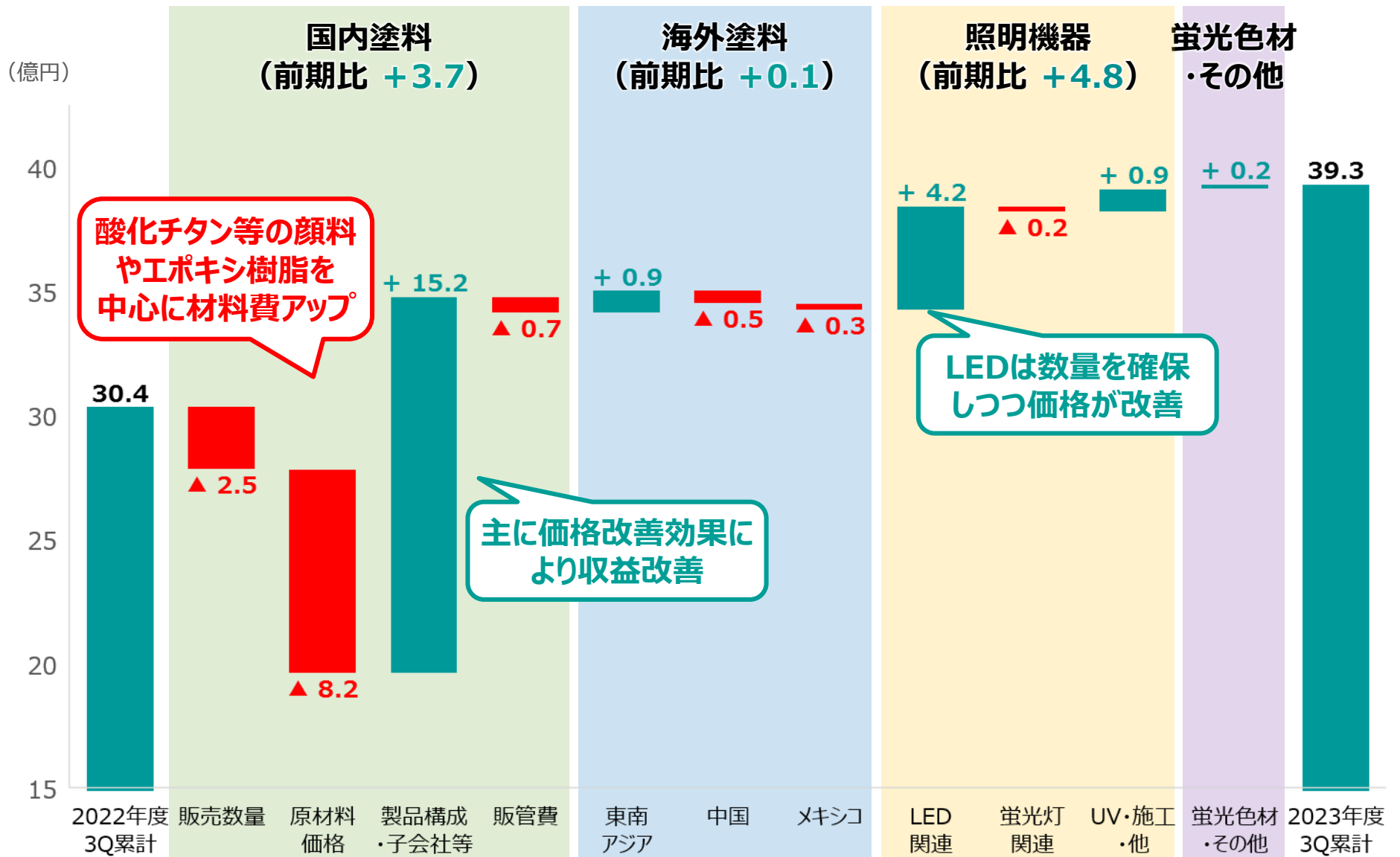


照明機器



- ✓ 国内塗料は、数量面が弱いものの**価格改善が浸透**し、利益面は堅調な推移
- ✓ 海外塗料は、中国・**上海工場のクローズ**に伴い損失を計上し、今期の利益計画達成は厳しい状況（現在までにクローズ完了）
- ✓ 照明機器は、**数量、価格ともに堅調**
4Qは需要期であり売上高も計画達成圏内

営業利益の前年同期比増減（2023年度3Q累計）



貸借対照表

(単位：百万円)

	2023年3月末	2023年12月末	増減額
流動資産	38,604	40,709	+ 2,105
現金及び預金	6,864	7,791	+ 926
受取手形、売掛金及び契約資産	19,293	19,328	+ 35
棚卸資産	11,141	11,815	+ 674
その他流動資産	1,304	1,773	+ 468
固定資産	54,200	57,319	+ 3,118
有形固定資産	25,545	26,345	+ 799
無形固定資産	445	825	+ 380
投資その他の資産	28,210	30,148	+ 1,938
資産合計	92,805	98,028	+ 5,223
負債合計	37,594	39,843	+ 2,248
(借入金残高)	(5,000)	(7,100)	(+ 2,100)
純資産合計	55,210	58,185	+ 2,974
負債純資産合計	92,805	98,028	+ 5,223

本日はありがとうございました

見通しに関する注意事項


本資料には、業績見通しおよび事業計画等を記載しております。


それらにつきましては各資料作成時点における経済環境や事業方針等の一定の前提に基づいて作成しております。


したがって、実際の業績は様々な要因の変化により、これらの業績見通しとは異なる結果となりうることをご承知おき下さい。

○公式SNS

当社は公式SNSを開設しております。
製品や採用事例のご紹介など、皆様に大日本塗料のことを、より知っていただける情報を発信してまいります。

 https://www.instagram.com/dainippon_toryo_official/

 <https://www.youtube.com/channel/UCQU09EjLkUi-CPNXuZxfWjA>

 https://www.facebook.com/dainippon.toryo_official



大日本塗料株式会社

〒542-0081

大阪市中央区南船場1丁目18-11

Tel : 06-6266-3100 (代表)

Fax : 06-6266-3100

公式HP : <https://www.dnt.co.jp/>

マガジンサイト : <https://www.e-dnt.jp/>

Mail : dnt-sou@star.dnt.co.jp